

迅速な避難をするために

▶ 避難情報に従いましょう

避難に関する情報を無視するのは、きわめて危険な行為です。被害が発生しない場合も当然あるわけで、このときは被害がなくて良かったと思うようにしなければなりません。



▶ 避難場所・避難経路を確認しておきましょう

日頃から、どの経路でどこへ避難するか、家族で確認しておきましょう。また、津波到達時間が5分程度で来襲する場合もあるので、ハザードマップなどで、いち早く避難できる高台を確認しておきましょう。

▶ ハザードマップを活用し、身近な危険を確認しておきましょう

日頃から、身近の危険を確認し、家族や地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。身近に避難のお手伝いが必要な人が居ないかを確認しておきましょう。

▶ その時、その時にあった避難行動がとれるように備えておきましょう

津波警報が発表されたら、いつでもハザードマップに示された区域が浸水するわけではありません。その時その時にあった避難が行えるように備えておきましょう。

▶ どんな時でも情報をつかめるようにしておきましょう

役場が被災する可能性もあるため避難情報が発令される前に津波が襲来する場合があります。どんな状況でも情報を掴めるように携帯ラジオ等を常備しておきましょう。



東日本大震災の津波避難行動の教訓

- 安全に避難するには**早期避難**が重要
- 避難の呼びかけ**や**率先避難**が避難をうながす要因になる
- 迅速に避難した人は、**津波襲来に対する意識が高い**
- 「家族を探す」「忘れ物とりに自宅へ戻る」などの行動が**避難を妨げる**
- 車で避難した人の1／3が**渋滞に巻き込まれ**被害にあった

